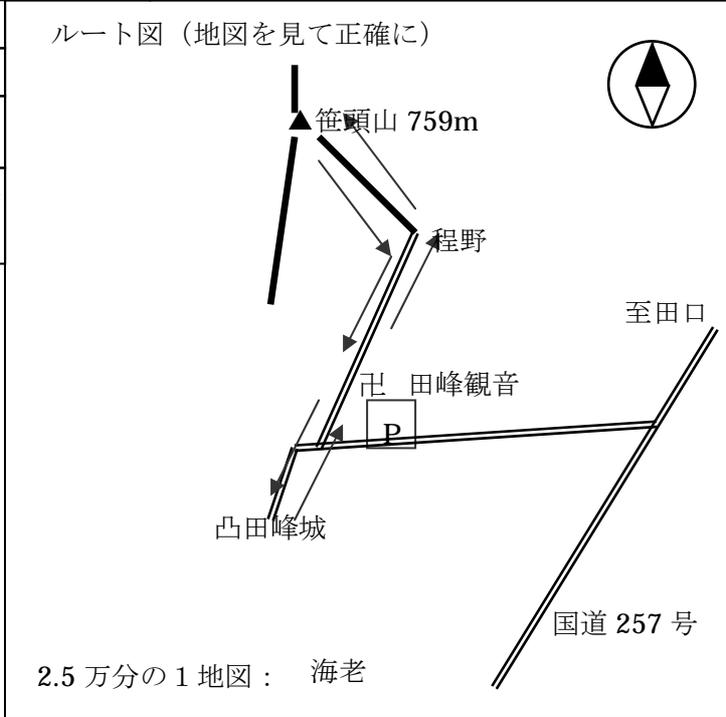


| | | | | |
|--|----------|-------|--------------------|------------|
| 6 月度 例会 個人 山行報告書 | 報告者 | 中山 正夫 | 参加 メンバー | CL : 中山 正夫 |
| | 報告日 | 7/9 | | |
| 山 域 | 奥三河 | 山行日 | 08 年 06 月 11 日 (水) | |
| 山 名 | 笹頭(サノヅ)山 | | | |

| | | |
|------|----------|---------------------|
| 山行目的 | 奥三河の名水と山 | コースタイム (天候 : 天気図記号) |
|------|----------|---------------------|

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



06/11(水) 曇り
 3:10 自宅(幸田)発
 新城→鳳来寺→設楽町
 4:25 田峰観音着
 6:00 程野登山口
 6:30 笹頭山
 7:30 登山口
 8:00 田峰城
 8:55 田峰観音着
 9:00 水汲み
 11:25 自宅着



〈山行報告〉6/11(水)3:10 バイクで自宅発、新城鳳来寺経由して設楽町の田峰へ向かう。4:25 田峰観音に着く、ここは、村人の願いを聞いて夏に雪を降らせたと言う霊験あらたかな観音様であり、また毎年2月に行われる奉納歌舞伎でも有名なところだ。今回はOG 福嶋さんの依頼で、お茶会用の名水「田峰観音の祭祓水」を汲みに来たついでに笹頭山(サノヅヤマ)に登ることにする。駐車場横の祭祓水を水筒に汲み歩きだす。舗装道路を歩き 30 分で程野の携帯電話の電波塔下に着く。笹頭山方面の木札を見て、左に急カーブした林道に入る。電波塔の横を通り舗装が途切れた所に登山口の標識があったが、墨で書かれた文字が消えて一度通り過ぎてしまった。登山道は杉と桧の植林のなかで、大きな赤松も転々と残っている。6:30 頂上着、見晴らしはあまり良くなく、平山明神や大鈴山方面だけ切り開かれて見える。往路をもどり、山家三方衆の一人、菅沼氏の居城の田峰城も見学して、田峰観音 8:55 着。100 のポリタンに水を汲み、ザックに背負い、ポチャポチャと音を聞きながら、バイクを走らせ 11:25 に自宅着。

水汲みが主目的ではあったが、ウイークデーに登山ができて幸せに感じた山行でした。距離的に短いので、もうひとつの名水「三都橋の赤沢弁才天の霊水」→田峰城→田峰観音→笹頭山のコースを桜か紅葉のころ歩いたら楽しいかもしれないと思った。

〈リーダー所見〉梅雨時はどうしても、登山を敬遠しがちなので、たとえ 759m の低山でも、濡れずに登れたのはラッキーでした。

奥里の梅雨一休み山登り
 ポリタンを背たろて歩く田舎道
 雪降らす謂れもあるう観音さま
 小夜野

確認
(リーダー)
中
 07/07/09
 山
 作成
(報告者)
中
 07/07/09
 山